

2021年度 社会福祉法人本巣市社会福祉協議会事業報告

[基本理念]

ふれあい、つながり、支え合う 安心とやさしさに包まれたまち もとす

[事業報告の概要]

新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活環境が大きく変化し、精神面・金銭面で支援が必要な方が増えてきました。このような方への支援とし、生活困窮者自立支援事業の充実やくらしつなぎあい事業の実施、また見守り訪問活動を定期的に行い、早期に支援ができるよう体制整備を行いました。また、デイサービスセンターや就労支援センターの利用者に対し、その人の立場に立った支援が行えるよう工夫をこらしながら実施しました。

[重点計画取り組みの成果]

1 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期脱却できるように、「自立相談支援事業」「家計改善支援事業」「就労準備支援事業」を実施しました。

2 食料支援事業の実施

生活困窮世帯への食料支援として「フードバンク」を実施し、必要な時に必要な分だけ、その場で支援できるしくみ作りを行い支援の幅を広げました。

また子どもに対する支援として、関係機関と意見交換を行い、冬休み中にはお菓子等を持って訪問を行いました。

3 介護保険事業及び障がい福祉事業におけるサービス体制の向上

要介護や要支援の高齢者の方々への介護サービス支援や障がい者に対する福祉サービス等について、利用者の信頼や評価が高められるようサービスの質の向上に努めました。デイサービスセンターにおいては、利用者の「できる」「できた」「頑張る」を大切に、支援を行いました。

4 認知症地域支援・ケア向上事業の拡大

認知症についての普及啓発として、福祉協力校を対象に「オレンジリング啓発事業」を実施し、認知症についての学習を行い、子ども達が考えるオレンジリングを作成しました。

5 健全な組織運営

高い公益性を有する社会福祉法人であるために組織のガバナンス強化と法令遵守の徹底を図りながら透明性の高い組織運営を行いました。また、働き方改革として、臨時職員等の給与規程の改正及び再雇用職員の給与等規程の改正を行い、働きやすい環境づくりを行いました。

【一 般 福 祉 事 業】

事業名	1 法人運営事業
事業内容及び成果	<p>(1) 組織体制の充実</p> <p>①安定的な法人運営のために理事会・評議員会等を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会の開催（年4回） ・評議員会の開催（年3回） ・評議員選任・解任委員会の開催（年1回） <p>②監事による事業監査及び会計監査を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監査会の開催（年2回） <p>③社協内部会議を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡調整会議（月1回） ・各担当者会議（随時） <p>(2) 財政基盤の強化</p> <p>①財源確保の為に一般会費及び賛助会費の加入促進と寄附金の募集を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会費 9,198 世帯（28 世帯減） 真正 3,692 世帯（32 世帯増） 糸貫 2,867 世帯（52 世帯減） 本巣 2,095 世帯（1 世帯増） 根尾 544 世帯（9 世帯減） ・賛助会費 134 社（14 社増） 真正 43 社（2 社減） 糸貫 46 社 本巣 21 社（4 社増） 根尾 12 社（2 社増） 市外 12 社（10 社増） <p>②広報なごみにて広告掲載をし、広告掲載料の増に努めました。</p> <p>広告掲載登録 2 社（1 社増）</p> <p>③寄附金、寄附物品</p> <p>寄附金 3 名 2 団体</p> <p>寄附物品 折り紙、雑巾、タオル、洗剤、辞典、消毒液、紙おむつ 米、墨汁、野菜、マスク、非常食、食品等 29 名、3 社、1 組合、1 PTA</p> <p>(3) 人材の育成</p> <p>①実習担当者研修 1 名</p> <p>②資格取得への支援を行いました。</p> <p>(4) 働きやすい職場づくり</p> <p>①再雇用職員、臨時職員等の給与規程等の改正を行い、働きやすい環境づくりを行いました。</p> <p>(5) 情報提供</p> <p>①広報なごみを発行（年4回）しました。</p> <p>②ホームページやフェイスブックを公開し、リアルタイムな情報提供を行いました。</p> <p>(6) 被災者援護金の支給</p> <p>①火災により被災された方への援護金（見舞金）を支給しました。</p> <p>5 名支給 135,000 円</p>

事業名	2 地域福祉推進事業
事業内容及び成果	<p>(1) 福祉車輛貸出事業 一般の交通機関を利用すること等外出することが困難な市民に対し、行事の参加など活動の機会を促進するため、福祉車輛の貸し出しを行いました。 軽ワゴン車 4台 普通ワゴン車 1台 年間延べ175件利用</p> <p>(2) 福祉用具貸出事業 電動ベッドや車椅子等の福祉用具の貸し出しを行いました。 貸出用具・・・電動ベッド 継続利用者 20件 車椅子 新規 30件、継続 48件 歩行器 新規 0件、継続 15件</p> <p>(3) 高齢者ぬくもり訪問事業 75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、日用品等を持って民生委員やボランティアが見守り訪問を行いました。 年4回 延べ2,306名を訪問（真正667名、糸貫647名、本巢573名、根尾419名）</p> <p>(4) 福祉協力校への助成 ①市内の幼稚園8園、小学校8校、中学校4校を福祉協力校に指定し、福祉に関する事業や授業に対し助成を行いました。 ②福祉体験教育として、疑似体験セット等福祉用具の貸出（3校）、小学校（2校）での体験活動に協力しました。</p> <p>(5) 高額療養費貸付事業 入院又は通院による高額療養費支給制度に該当する方に対し、経済的な支援として貸付事務の手続きを行いました。 新規申請者 1名</p> <p>(6) ボランティアセンター事業 ①高齢者や障がい者を対象に、日常生活上のちょっとした困りごとを支援するくらしつなぎあい事業を4月からスタートしました。また、広報活動及びボランティアへの声掛けを行いました。 新規51件、事業実施 延べ109件 くらしつなぎあい事業で対応できない作業については、他機関へつなぎました。16件 ②ボランティアの養成や登録団体への支援を行いました。 ③ボランティア活動の情報提供を行いました。</p> <p>(7) ボランティアスクール 本巢市障がい者就労支援センターみつば、杉の子、ほたるにて、体験活動を行いました。小学生3名、中学生7名 計10名参加</p> <p>(8) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業） 低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えることを目的に、生活福祉資金貸付の相談や申請代行を行いました。 広報なごみで制度の紹介を行うと共に、チラシ等を配布し、啓発活動を行いました。相談者には、どのような資金の貸付が必要かを説明し、書類の作成等行いました。 また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象とした生活福祉資金貸付制度の特例</p>

	<p>措置による貸し付けを行いました。</p> <p>コロナ特例貸付 78件 通常貸付 4件</p> <p>(9) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業） 高齢や障がいなどで金銭管理や各種手続き等日常生活に不安を感じる方に対し、生活支援員が金銭管理や文書確認、届出事務の代行等行いました。</p> <p>①利用者・・・真正3名 糸貫2名 本巢5名 ②生活支援員・・・6名 ③相談及び訪問件数・・・年間延べ118件</p> <p>(10) 生活困窮者小口資金貸付事業 ライフラインの復旧や就労支援の際の費用を一時的に貸付する支援は、実績なし。</p>
事業名	3 共同募金配分事業
事業内容及び成果	<p>(1) ふれあいいいききサロン事業 円滑な事業運営を支援するため助成を行いました。また、ふくし出前講座職員・ボランティアによるレクリエーションを行いながら、高齢者等の生きがいづくりを支援しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言発令中はサロンの開催を中止としました。</p> <p>サロン数・・・58サロン（真正23サロン、糸貫18サロン 本巢13サロン、根尾4サロン） 実施サロン・・・42サロン（真正13サロン、糸貫17サロン 本巢9サロン、根尾3サロン）</p> <p>年間延べ 186回開催 参加延べ人数 1,913名</p> <p>(2) 広域サロンの開催 北部地域を対象に、自治会の枠を越えて誰でも参加できるいきいきサロンを開催しました。</p> <p>①松田、小鹿・・・2回開催 延べ12名 ②長島、能郷・・・2回開催 延べ33名</p> <p>(3) 買い物支援事業 高齢者等で自動車等の運転ができないなど買い物の移動に不便を感じている方に対し、買い物支援サービスを実施しました。</p> <p>また、運営ボランティア・運転手が集まり、情報交換を行いました。</p> <p>①高砂町自治会・・・年間延べ19回 延べ95名利用 毎月第2.4金曜日 ②神明自治会・・・年間延べ24回 延べ62名利用 毎月第1.3木曜日 ③宝珠ハイツ・・・年間延べ24回 延べ116名利用 毎月第2.4月曜日 ④仏生寺自治会・・・年間延べ24回 延べ40名利用 毎月第2火曜日 ⑤根尾中・越卒・・・年間延べ5回 延べ23名利用 毎月第2金曜日</p> <p>情報交換会・・・年1回開催</p> <p>(4) 男性のいきいきライブ教室 60歳以上の男性を対象に、各種教室を開催しました。</p> <p>スマホ教室10名、DIY教室4名、体幹トレーニング11名</p>

介護教室 4 名

(5) 災害救援ボランティア研修会

岐阜県、本巣市と連携し、根尾地域にて災害についての心構え、災害ボランティアセンターの設置等について研修会を実施しました。

(6) 食料支援事業（フードバンク）

①フードドライブ事業

各家庭で未使用となっている食材等を寄附していただき、生活困窮者等へ届けました。

玄米 4 6 1 kg その他の食品 1 1 4 kg

②子どもへの支援事業

様々な課題を抱える子ども達に対し、支える・見守るを意識しながら、安心して暮ることができるよう子どもの集える居場所づくり等について、本巣市教育委員会幼児教育課と意見交換、情報交換を行いました。

本巣市教育委員会幼児教育課 2 名、社協 3 名

生活困窮世帯の子どもに対し、冬休み期間（年末、年始）に食料（お米、お菓子等）を届けました。

年末 4 世帯 10 名、年始 4 世帯 10 名の子ども達へ支援しました。

(7) あったか便利帳の作成

地域の福祉サービス情報をまとめた「あったか便利帳」を作成し、市内の福祉相談窓口、医療機関、歯科医院、薬局、民生委員・児童委員、市内の居宅介護支援事業所、ひとり暮らし高齢者や支援を必要としている人等を対象に配布しました。1,000 冊作成

(8) クリスマス会の開催

障がい者就労支援センターの利用者が、仕事で頑張ったことなど、一年を振り返りながら利用者同士の仲間意識の向上と交流を図ることを目的に各施設内でクリスマス会を開催しました。

(9) ボランティア活動推進事業

高齢者疑似体験セットを購入し、学校等に貸し出しを行いました。

高齢者疑似体験セットを活用し、高齢者の身体機能の低下を体験し、介助の方法やその役割を伝えました。（本巣小学校、弾正小学校）

(10) 共同募金運動

助け合いの精神と福祉への参加を呼びかけ、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動を行いました。

①募金運動期間：10月1日から12月31日

②戸別募金：10月1日から各自治会の協力により、戸別募金実施
1 世帯 500 円 9,393 世帯

③法人募金：法人企業を対象に、募金運動実施 116 社

④街頭募金：モレラ岐阜にて街頭募金を実施。11月6日実施
中学生 26 名がボランティアとして参加しました。
募金額 60,278 円

事業名	4 退職手当給付事業																		
事業内容及び成果	<p>職員の退職給付金として、7名の退職者に給付しました。</p> <p>①退職給付金引当金・・・退職者への退職金支給</p> <p>②事業区分からの収入・・・各事業、サービス区分から一括して退職金積立を行いました。</p>																		
事業名	5 本巢市在宅福祉事業																		
事業内容及び成果	<p>(1) ミニデイサービス事業</p> <p>真正老人福祉センター及び本巢老人福祉センターの入浴施設を市内在住の60歳以上の方を対象に無料で開放し、市民の憩いの場として提供しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一度に4人以上入浴しないよう入浴制限を行いました。</p> <p>① 真正老人福祉センター：毎週月曜日・木曜日 毎回20名程利用 延べ77日 延べ1,223名利用 1日平均16名利用</p> <p>② 本巢老人福祉センター：毎週火曜日・金曜日 毎回10名程利用 延べ67日 延べ451名利用 1日平均 7名利用</p> <p>(2) 障害者社会参加促進事業</p> <p>障がい者就労支援センターみつば、杉の子、ほたるの利用者が一堂に会する場所として、ふれあい交流運動会を開催し、各競技を通じて相互の親睦と交流を図りました。</p> <p>開催日：11月19日 場所：本巢体育センターアリーナ 参加者：29名</p> <p>(3) 生活困窮者自立支援事業</p> <p>生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行いました。</p> <p>家計改善支援事業として、生活費の状況を適切に把握し、家計の改善等支援を行いました。</p> <p>新たに、就労準備支援事業を受託し、働きづらさを抱えた方への支援を行うため、事業の啓発チラシを作成しました。</p> <p>相談件数・・・延べ2,137件（内 家計改善466件、就労準備0件） 実質利用人数・・・531名 新規 95名（内 家計改善 13名） 継続 436名</p> <p>(4) 生活支援体制整備事業</p> <p>地域の社会資源の情報を収集し、活用できるよう「あったか便利帳」を作成しました。</p> <p>①第2層協議体</p> <p>真正・糸貫・本巢・根尾の4地域において、地域住民が集まり、地域の情報交換や地域づくりに向けた話し合いを毎月1回開催しました。</p> <table border="1" data-bbox="501 1845 1230 2121"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>開催回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真 正</td> <td>8回</td> <td>61名</td> </tr> <tr> <td>糸 貫</td> <td>8回</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>本 巢</td> <td>7回</td> <td>65名</td> </tr> <tr> <td>根 尾</td> <td>8回</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>全 体 会</td> <td>2回</td> <td>49名</td> </tr> </tbody> </table>	地 域	開催回数	参加人数	真 正	8回	61名	糸 貫	8回	78名	本 巢	7回	65名	根 尾	8回	70名	全 体 会	2回	49名
地 域	開催回数	参加人数																	
真 正	8回	61名																	
糸 貫	8回	78名																	
本 巢	7回	65名																	
根 尾	8回	70名																	
全 体 会	2回	49名																	

12月、1月は、各地域をオンラインで繋ぎ、全体会を開催しました。各地域の取り組み状況を聞くことで、他の地域が日頃どのような話題・情報について話し合っているかを知ることができ、今後の取り組みを考えるきっかけとなりました。

②介護予防サポーター養成講座の運営協力と参加者のネットワークづくり

	参加者（延べ人数）
介護予防サポーター養成講座	12名
サポーターズクラブ	25名（150名）

(5) 認知症総合支援事業

①認知症初期集中支援推進事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、早期診断・早期対応に向けた相談支援を行いました。

※地域包括支援センター相談状況 (延べ件数)

相談内容/相談形態	電話	来所	訪問	その他	合計
認知症に対する相談	61	37	7	1	106
内、チーム員相談対応	38	1	18	0	57

②認知症地域支援・ケア向上

※認知症サポーター養成講座

	2021年度	2020年度
開催回数（回）	7回	11回
参加人数（人）	321名	364名

市内小学校及び介護予防サポーター養成講座など、幅広い世代を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解を深めることができました。

※認知症カフェ

地域	名称	回数	参加延べ人数
糸貫地域	わいわいカフェ	5回	97名
	ぐるぐるカフェ	4回	28名
本巣地域	ささゆりカフェ	5回	107名
根尾地域	おきがるカフェ	2回	27名

住民主体で開催した認知症カフェについては、会場の人数制限もあり参加人数を調整して開催しました。内容もあまり会話をしなくても楽しめるよう工夫しました。

【アルツハイマー月間認知症啓発】

しんせいほんの森にて、認知症についてのコーナーを設置し、認知症についての書籍を紹介しました。市ジュニア司書が本の紹介をすることで、幅広い年代に関心を持ってもらうことができました。

【オレンジリング啓発事業】

福祉協力校の2つの小学校から参加があり、ポスターやオレンジリング作成に取り組みました。活動の様子をCCネットで放映し、認知症についての

啓発に努めました。

【家族介護教室】

認知症の方を介護している家族等5名の参加がありました。実際に介護をしている方から介護者の現状や介護者の気持ちなどを語ってもらい、他の参加者とも共感することができました。

事業名 6 介護予防・日常生活支援総合事業

事業内容及び成果 市内の概ね65歳以上の高齢者を対象に、要介護状態にならないようにするため、転倒予防教室やキラリ元気アップ教室を開催し、口腔ケア、栄養指導、認知症予防、閉じこもり予防など介護予防に取り組みました。

(1) 一般介護予防事業

市内在住の概ね65歳以上の高齢者を対象に、各地域において転倒予防教室を開催しました。介護予防サポーター養成講座を修了したサポーターズクラブから運営協力がありました。

※転倒予防教室 (延べ人数)

地 域	2021年度	2020年度
真 正	329	282
糸 貫	201	194
本 巣	213	166
根 尾	159	59
合 計	902	701

(2) 介護予防・生活支援サービス事業

65歳以上で基本チェックリストに該当した方、または要支援1、2の認定者で介護保険の通所サービスを利用していない方を対象に、4地域でそれぞれ週1回介護予防教室を開催しました。

※キラリ元気アップ教室 (延べ人数)

地 域	2021年度	2020年度
真 正	1,042	486
糸 貫	395	202
本 巣	423	206
根 尾	122	79
合 計	1,982	973

事業名 7 生きがい活動支援通所事業

事業内容及び成果 根尾デイサービスセンターに於いて、要支援になるおそれのある方や身体に障がいがあって日常生活に支障がある方に対し、入浴や食事、レクリエーションのサービスを提供しました。介護保険利用に切り替えるタイミングを見極め、提案することで、利用者は減少しています。

	2021年度	2020年度
利用者延べ人数	27名	39名
利用者実人数	2名	2名

事業名	8 ふれあいホーム事業
事業内容及び成果	<p>障がい者の自立生活を支援するため、ふれあいホーム（賃貸住宅）において、日常生活訓練を実施しました。</p> <p>年間41回実施 延べ78名利用</p> <p>利用者が2人ずつ組になり、世話人と一緒に1泊2日の宿泊訓練を行いました。</p> <p>利用登録者内訳 男性14名 女性4名</p>

【公 的 福 祉 事 業】

事業名	1 介護保険事業																									
事業内容及び成果	<p>(1) 訪問介護事業</p> <p>在宅の要介護者に対してホームヘルパーを派遣し、入浴・排泄・食事などの介護及び調理・洗濯・掃除等の生活援助並びに生活等に関する相談と助言、その他要介護者等に必要な日常生活上の支援を行いました。</p> <p>ヘルパーとして、利用者ひとり一人の持つ能力に着目し「やってあげる」からの脱却を図りました。「やってあげる」ことは簡単ですが、「やれるように手伝う」とは大きくその後には違いが生じることから、ヘルパーステーションでは、その支援に取り組みました。</p> <p>また、特定事業所加算を取得している事業所として、常に業務の厳格化を図り、困難なケースに対しても、積極的に受け入れてきました。新型コロナウイルス感染拡大により、利用者宅でも感染者が出るなどヘルパー自身が濃厚接触者となり、訪問自粛になるなど事業運営にも支障をきたすこともありましたが、訪問するヘルパーが感染源とならないよう細心の注意を払いました。重度の方の在宅志向が高まり、要介護認定者の利用件数が増えました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2021年度</th> <th>2020年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">利用者延べ人数</td> <td>介護保険要介護者</td> <td>340名</td> <td>294名</td> </tr> <tr> <td>介護保険要支援者</td> <td>162名</td> <td>164名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">利用延べ回数</td> <td>介護保険要介護者</td> <td>3,761回</td> <td>2,996回</td> </tr> <tr> <td>介護保険要支援者</td> <td>854回</td> <td>903回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">月平均利用者数</td> <td>介護保険要介護者</td> <td>28名</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>介護保険要支援者</td> <td>14名</td> <td>14名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 通所介護事業（糸貫デイサービスセンター、根尾デイサービスセンター）</p> <p>在宅の要介護者・要支援者に対し、デイサービスセンターにおいて入浴・排泄・食事などの介護や個別機能訓練、レクリエーションを行いました。</p> <p>糸貫デイサービスセンターでは、『利用者の「できる」「できた」「頑張る」を応援する』を目標に、利用者個々の能力や意欲に着目してきました。事業実施に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気や消毒、レクリエーションのあり方や方法を検討しながら、利用者の満足度やサービスの質の低下を招かないよう取り組むと共に、感染症に関するBCPを作成し、実際に感染者がでたことを想定しての訓練を行いました。また、新規事業として「社会貢献事業」とし、利用者による隣接する公園の草取りや、アクリルたわしを作って市内の施設に置かせてもらう等活動を行いました。</p>			2021年度	2020年度	利用者延べ人数	介護保険要介護者	340名	294名	介護保険要支援者	162名	164名	利用延べ回数	介護保険要介護者	3,761回	2,996回	介護保険要支援者	854回	903回	月平均利用者数	介護保険要介護者	28名	25名	介護保険要支援者	14名	14名
		2021年度	2020年度																							
利用者延べ人数	介護保険要介護者	340名	294名																							
	介護保険要支援者	162名	164名																							
利用延べ回数	介護保険要介護者	3,761回	2,996回																							
	介護保険要支援者	854回	903回																							
月平均利用者数	介護保険要介護者	28名	25名																							
	介護保険要支援者	14名	14名																							

※糸貫デイサービスセンター

	2021年度	2020年度
利用者延べ人数	3,611名	3,853名
利用者実人数	300名	342名
月平均利用者実人数	25名	29名

1日平均利用者数は13名で、昨年度より1名増となりました。

根尾デイサービスセンターでは、糸貫デイサービスセンター同様「社会貢献事業」として、レクリエーションで作成した小物をうすずみ温泉やJA、根尾分庁舎に置かせていただきました。それを手にした住民や観光客の方々から、お礼や励ましの手紙をいただくなど、利用者のやる気に繋げることができました。利用者数としては、減少傾向ですが、小規模デイだからできることに着目し、利用者ひとり一人のやる気や頑張りを評価し、目的を持って取り組めるよう支援をしました。

※根尾デイサービスセンター

	2021年度	2020年度
利用者延べ人数	2,617名	2,497名
利用者実人数	323名	291名
月平均利用者実人数	27名	24名

1日平均利用者数は8名で、昨年度と同じでした。

(3) 本巣市居宅介護支援センター

①居宅サービス計画（ケアプラン）の作成

介護保険の要介護認定を受けた方及びその家族の依頼を受けて、介護支援専門員が自宅を訪問し、心身の状況、生活環境等を勘案し、自立した日常生活を営むために必要なサービスが適切に利用できるよう居宅サービス計画の作成を行いました。

②介護予防プランの作成

要支援認定を受けた方に対して、地域包括支援センターからの委託を受け介護予防プランの作成を行いました。

契約者に対しては、家族が就業していることも多く、働く家族からの相談に対応するため、24時間365日体制で在宅生活をサポートしました。

最近では、メールでの相談も多くなり、特に夜間や休日など、家族からの発信が大半を占め、年間700件程が時間外相談となりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、併設する糸貫デイサービスセンターの業務量の増大を緩和するため、利用者の受け入れ、血圧測定、お茶出しなど積極的に業務アシストを行いました。

特定事業所加算を取得している事業所として、地域包括支援センター及び他の居宅介護支援事業所、医療機関からの困難事例の受け入れも積極的に行い、常に要介護3以上の利用者が40%を超えました。

契約利用者以外の介護保険等多岐に亘る急な来所や電話相談にも柔軟に対応し、職員全員が社会福祉士、介護福祉士、看護師などの資格を有しているため、殆どの相談はワンストップで解決しました。また、他機関への「つなぎ」が必要な場合でも、相談者が不安に感じることがないように丁

寧な対応を心がけました。

	2021年度	2020年度	月平均件数	
			2021年度	2020年度
ケアプラン延件数	2,246件	2,059件	187件	172件
予防プラン延件数	158件	153件	13件	13件
相談件数	58件	69件	5件	6件
紹介件数	34件	45件	3件	4件
新規契約件数	62件	71件	5件	6件
24時間対応件数	676件	563件	56件	47件

事業名 2 地域包括支援センター事業

事業内容及び成果 (1) 介護予防ケアマネジメント事業

※介護予防ケアマネジメントBの作成件数 (延べ件数)

	2021年度	2020年度
ケアマネジメントB	765件	662件

基本チェックリストに該当した事業対象者に、維持向上を目的に介護予防サービス、支援計画書を作成しました。なお、コロナ禍で教室が中止となったため、件数が減少しました。

※出前講座

	開催回数	延参加人数	介護予防	認知症	消費者被害	感染対策	その他
サロン	3	43	1	1	1	1	0
その他	7	114	1	2	1	1	2
合計	10	157	2	3	2	2	2

一般介護予防教室や出前講座等で地域に出向き、包括支援センターの周知や介護予防等の啓発活動に努めました。コロナ禍でサロンや老人クラブなどの集いの場に自粛が多く、訪問件数は増加しませんでした。

(2) 総合相談支援事業

※総合相談延件数 (単位：件)

	本人	家族等	関係機関	地域団体等	計
電話	125	383	377	35	920
来所	31	178	27	14	250
訪問	125	95	16	2	238
その他	1	3	1	0	5
合計	282	659	421	51	1,413

※相談内容別件数 (単位：件)

	2021年度	2020年度
介護保険制度に関する相談	1,400	1,376
総合事業に関する相談	79	54
福祉制度・サービスに関する相談	99	101
医療・健康等に関する相談	49	97
認知症に関する相談	106	71
安否確認に関する相談	29	26
権利擁護に関する相談	54	50
介護方法等に関する相談	10	12
生活全般に関する相談	240	354
介護者の離職に関する相談	3	
苦情相談	3	9
その他	8	3
合計	2,080	2,153

※対応内容別件数

	2021年度	2020年度
情報提供	1,451	1,452
連絡・調整	624	715
家庭訪問	228	284
ケース検討	7	3
申請（代行）	168	140
基本チェックリストの実施	20	19
その他	3	7
合計	2,501	2,620

(3) 権利擁護事業

	相談件数（実人数）
高齢者虐待	19件（10名）
消費者被害	8件（7名）
成年後見制度	25件（13名）

① 高齢者虐待

相談のうち、要介護状態の高齢者への虐待事案が半数以上を占め、サービスを利用しているが介護に疲れ、高齢者に暴言暴力を振るうケースが多くみられました。市や医療機関、ケアマネージャー等と連携して対応しました。

② 消費者被害

ひとり暮らし高齢者宅を訪問して、宝飾類などを買い取るケース、市の合併浄化槽設置事業に便乗した住宅改修に関する被害などがありました。

警察や市の関係部署と連携し、クーリングオフの手続き支援、見守り強化を行いました。

③ 成年後見制度

金銭管理が難しい高齢者に対して、成年後見制度の申し立てを検討するケースが増え、中でも頼れる親族等が無く、市長申し立てに繋がるケース

が増えました。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

①地域の介護支援専門員への個別支援

(単位：件)

	2021年度	2020年度
ケアマネに対する日常的な指導助言	93	81
同行訪問	1	3
サービス担当者会議の開催支援	0	0
支援困難事例等への指導・助言	50	23
合計	144	107

地域の介護支援専門員からの相談として、困難事例や高齢者虐待に関する相談が多くみられ、同行訪問や地域ケア会議に結びました。

②市内の介護支援専門員勉強会

月日	内容	参加人数
7月13日	「実地指導の実例報告と令和3年度介護報酬改定について」 講師：もとす広域連合 介護保険課	会場：13名 ZOOM：12名 計 25名
11月11日	「社会資源について」 講師：リフレもとす、コープぎふ等	19名

市内の介護支援専門員にアンケート調査をし、希望が多かった内容について実施しました。介護報酬改定についての講義では、オンラインを併用したこともあり、市内の介護支援専門員の8割が参加しました。

③地域ケア会議

	開催回数	事例件数	参加延べ人数
自立支援	9	16	127
困難ケース	2	2	17
集中減算	1	5	6
合計	12	23	150

自立支援に向けたケースでは、市内を南部（真正、糸貫）北部（本巣、根尾）に分け、コロナ禍でも開催できるよう、10月からオンライン併用で毎月1回開催しました。多職種の方が参加することで、様々な視点で検討することができました。また、地域ごとに検討したことで、それぞれの地域及び市内全体の課題を把握することができました。

困難ケースは随時開催し、介護支援専門員が困っている時に、タイムリーな支援をすることができました。また、ケースごとに参加者を替えることで、それぞれのケースでの具体的な対応を検討することができました。

(5) 指定介護予防支援事業

要支援認定者に対し、介護予防計画を作成しました。コロナ禍により、出かける場所が減ったこともあり、筋力や体力の低下がおき、歩行不安定な方が増え、歩行器や手すり等福祉用具の貸与や通所サービス利用が増えました。

※介護予防サービス計画作成件数

	2021年度	2020年度
予防給付	2,068	1,926
予防マネジメントA	524	615

※予防給付・・・要支援 1, 2 の人でデイケア、訪問看護、福祉用具等利用
 ※マネジメント A・・・要支援 1, 2 の人で訪問介護、通所介護のみ利用

事業名 3 障がい福祉事業

事業内容及び成果

(1) 障がい者就労継続支援事業 (B型)

自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。

※利用者数

	当初利用者数 (4月)	年度末利用者数 (3月)
みつば	12名	10名
杉の子	8名	9名
ほたる	13名	13名

※利用者1人当たり平均工賃 (月額)

	2021年度	2020年度
みつば	11,721円	11,394円
杉の子	11,359円	12,961円
ほたる	10,824円	11,422円

2021年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が収束せず、企業から請け負う作業量が減少傾向にある中、新規企業の開拓や焼き菓子製造における新商品の考案など、工賃収入を安定的にするための新たな取り組みを行いました。

(2) 障がい者相談支援事業 (障がい福祉サービス等の利用計画作成)

サービス等の利用計画についての相談及び作成などの支援を行い、障がい者の自立した生活を支え、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に応じて保護者の協力を得ながら支援しました。

- ①計画相談作成 利用者 35名
- ②基本相談支援 利用者 4名

(3) 障害者居宅介護給付事業 (障がい者ホームヘルプサービス)

障がい者が居宅において日常生活を営むことができるよう、障がい者の家庭にホームヘルパーが訪問し、食事、身体の清潔の保持などの介助や日常生活を営むのに必要な便宜を供与し、障がい者の居宅での生活が続くよう支援を行いました。なお、若年層の障がい者や、精神障害者などの利用者が増えました。

		2021年度	2020年度
利用者延べ人数	地域生活支援事業	15人	12人
	障害者総合支援事業	66人	72人
利用延べ回数	地域生活支援事業	62回	50回
	障害者総合支援事業	363回	369回
月平均利用者数	地域生活支援事業	1人	1人
	障害者総合支援事業	6人	6人

【指 定 管 理 事 業】

事業名	1 指定管理業務																																		
事業内容及び成果	<p>(1) 在宅介護支援センター事業（真正、糸貫、本巢、根尾） 在宅で支援を必要とされている高齢者やその家族などに対し、適切なサービスが受けられるよう、連絡調整を行うなどの相談に応じました。 また、市内の概ね75歳以上のひとり暮らしの方を対象として、定期的に見守り訪問しました。 ※在宅介護支援センター活動実績</p> <table border="1" data-bbox="392 468 1398 703"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>真正</th> <th>糸貫</th> <th>本巢</th> <th>根尾</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">見守り 訪問</td> <td>実人数</td> <td>15</td> <td>29</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>延人数</td> <td>82</td> <td>142</td> <td>109</td> <td>71</td> <td>404</td> </tr> <tr> <td colspan="2">相談件数</td> <td>8</td> <td>79</td> <td>130</td> <td>16</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td colspan="2">実態把握</td> <td>19</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 根尾生活支援ハウス 65歳以上のひとり暮らしの方及び夫婦世帯又は要介護認定において非該当、要支援となった方、又は居住環境及び家庭環境の変化等により、家族による援助を受けることが困難で、独立して生活することに不安のある方に対し、施設内での共同生活を送るとともに、生活援助員による援助を行いました。 入居者：2名</p> <p>(3) 老人福祉センターの管理運営（真正、本巢老人福祉センター） 老人の健康増進及び文化活動の場として、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、憩いと交流の場を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報なごみで一般入浴についてPRを行いました。 ・施設内の清掃に力を入れ、環境整備を行いました。 ・年2回の避難訓練、消防訓練を行い、火災等発生した場合の利用者の誘導方法等確認しました。 <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月から9月は貸出しを中止し、1月から3月は時間を短くして貸出しを行いました。</p> <p>①真正老人福祉センター 月曜日から土曜日開館（祝日を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設開館は242日（日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日） ・施設利用者数 延べ536名 ・施設修繕・・・誘導灯取替え、浴室漏電修繕、非常放送蓄電池取替え修繕等行いました。 <p>また、ミニデイサービス（一般浴場の開放）も、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、一度に4人以上入浴しないよう入浴制限を行いました。（まん延防止等重点措置発令中はミニデイサービスを中止しました。） 延べ1,223名利用 昨年度より62名の減となりました。</p> <p>②本巢老人福祉センター 月曜日から金曜日開館（祝日を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設開館は217日（土日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日） ・施設利用者数 延べ2,279名 ・施設修繕・・・網戸張替え、調理室ガス遮断弁撤去修繕等行いました。 <p>また、ミニデイサービス（一般浴場の開放）も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入浴制限を行いました。（まん延防止等重点措置発令中は</p>			真正	糸貫	本巢	根尾	合計	見守り 訪問	実人数	15	29	20	15	79	延人数	82	142	109	71	404	相談件数		8	79	130	16	233	実態把握		19	13	15	12	59
		真正	糸貫	本巢	根尾	合計																													
見守り 訪問	実人数	15	29	20	15	79																													
	延人数	82	142	109	71	404																													
相談件数		8	79	130	16	233																													
実態把握		19	13	15	12	59																													

ミニデイサービスを中止しました。) 延べ451名利用 昨年度より40名の減となりました。

(4) 糸貫ぬくもりの里の管理運営

市民の健康づくりと高齢者に対する在宅福祉の充実を図るとともに、市民の地域福祉活動及び文化活動を振興し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら会議室やホールの貸出を行いました。

緊急事態宣言の発令に伴い、夜間の利用時間短縮や、利用人数を制限しました。(8月から9月貸館中止、1月から3月時短貸出し)

新型コロナウイルスワクチン接種会場として、いきいきセンターを活用しました。

年2回の避難訓練、消防訓練等を行い、火災等発生した場合の利用者の誘導方法等確認しました。

- ・施設開館は267日(いきいきセンターは、月曜日及び年末年始を除く毎日、保健センターは、土日祝日、年末年始を除く毎日)

- ・施設利用者数 延べ56,301名

- ・施設修繕・・トイレ修繕8ヶ所、冷温水発生機修繕、天井電気器具交換修繕11ヶ所、給水ポンプ修繕、合併浄化槽放流層修繕、自動水栓取替修繕、研修室間仕切りシャッター修繕、駐車場整備工事、車庫シャッター修繕等行いました。

(5) 根尾高齢者生活福祉センターの管理運営

根尾デイサービスセンター及び根尾生活支援ハウスが円滑に運営できるよう施設設備の管理を行いました。

年2回の避難訓練、消防訓練を行い、火災等発生した場合の利用者の誘導方法等確認しました。

- ・施設修繕・・畳表張替え、受水槽ボールタップ修繕、洗濯機・衣類乾燥機修繕、ガス警報器取替え、給湯配管、誘導灯バッテリー交換修繕等行いました。

(6) 障がい者就労支援センター(みつば、杉の子)の管理

障がい者就労支援センターが円滑に運営できるよう施設整備の管理を行いました。

- ・年1回の避難訓練を行い、利用者や職員が安全に避難できるよう訓練を行いました。

- ・みつば施設修繕・・誘導灯バッテリー交換、外灯電気修繕、自動扉錠前取替え修繕

- ・杉の子施設修繕・・シャワートイレ修繕、厨房エアコン冷媒ガス充填等行いました。